



「聴覚障害児支援事業」が始まりました。

新聞に掲載され御存知の方もいらっしゃると思いますが、今年度4月から国と県の共同事業である『聴覚障害児支援事業』が始まりました。「聴覚障害児及びその家族に対して、医療・保健・福祉・教育の関係機関が連携して早期から切れ目のない支援を行う」ことを目的とする事業です。「教育」の立場から鹿児島聾学校が参画し、本相談を拠点として事業が展開しています。今回の聴覚相談センターだよりでは、事業について御紹介いたします。

【事業内容とこれまでの成果について】

- 1 言語聴覚士による聴覚障害児支援の実施 → コミュニケーションや摂食や発音等、より専門的な立場からの助言ができるようになりました。
- 2 巡回相談の実施 → これまで行っていた年8回の出張相談(出水・伊佐・鹿屋)に加え、今年度は奄美大島・喜界島への巡回相談や療育施設への巡回相談が可能になりました。
- 3 聴覚障害児支援に関する助言・研修等 → 「支援者・家族交流会」(9/17), 大島・喜界島巡回相談に併せて「聴覚障害児支援研修会」(10/2, 3)が開催できました。
- 4 家族支援の実施 → 「支援者・家族交流会」(9/17)を行い、講演会や乳幼児教育相談対象年齢以外の保護者との交流ができました。
- 5 聴覚障害児支援に係る連絡会の設置 → 鹿児島県新生児聴覚スクリーニング等環境整備研修会へ参加し事業の説明・啓発を行うことで「聴覚障害児とその家族への支援」が行政、地域の療育、医療へより広がるように事業者担当全員で働きかけをしていく予定です。



4月から言語聴覚士の春成美紅先生が一緒に活動しています(週2日程度)。

【第1回 支援者・家族交流会】



9月17日に本校で支援者・家族交流会が開催されました。46人(支援者27人、保護者19人)の参加があり、全体会として本校卒業生の保護者、田淵千春さんの講演会のあと、保護者と支援者に分かれてそれぞれ保護者交流会、支援者研修会を行いました。保護者にとっては、きこえにくい子供を育てる先輩お母さんからの経験談や応援メッセージはこれからの子育ての力になり、支援者にとっては、我が子にきこえにくさがあることが分かってからの保護者の様々な胸の内や家庭での努力などを知る貴重な機会になりました。後半の保護者交流会では田淵さんとだけでなく保護者同士でざっくばらんに話をして交流を深めることができたようです。支援者研修では「きこえにくさの体験」を通して、きこえにくい子供への支援の必要性、在り方を学ぶことができたようです。学びと交流が深まった時間でした。



鹿児島県立鹿児島聾学校

代表 TEL 099-228-2200 FAX 099-228-2211

聴覚相談センター(外園)

【直通】TEL 099-228-2300 FAX 099-228-2311

お気軽に ご相談ください(^-)-☆

★ 相談は無料です。

★ 相談内容に関する秘密は厳守します。

★ 全ての支援事業は聾学校への就学を勧めるものではありません。